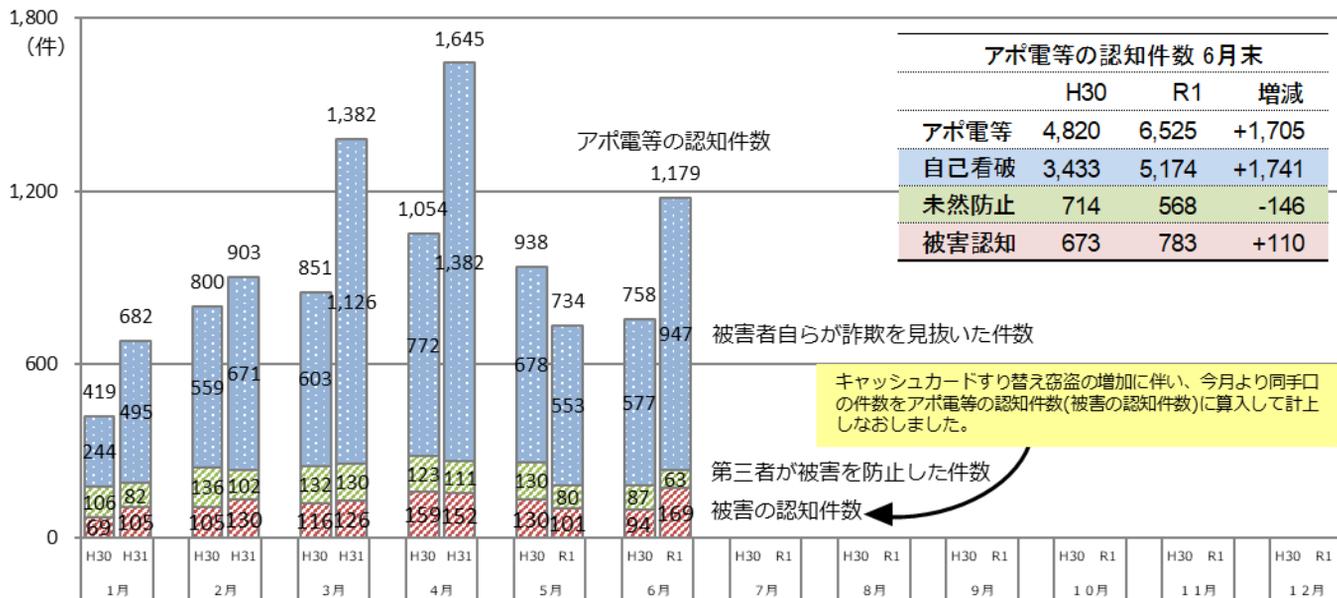




大阪府内の特殊詐欺認知状況【6月末】

アポ電等の認知件数

※ アポ電等とは、特殊詐欺（すり替え窃盗を含む）の犯人が発信したと思われる電話、メール（SMS）、葉書（封書）のことです。



6月のアポ電等の認知件数は、5月と比べて約60.6%（445件）増加し、1,179件でした。そのうち約80.3%（947件）は被害者自らが詐欺と気づき、約5.3%（63件）は家族・金融機関・コンビニなどの第三者が被害を防いでおり、被害として認知されたのは全体の約14.3%（169件）でした。

6月末のアポ電等の累計は、昨年と比べて1,705件増加しています。

特殊詐欺の被害認知状況

特殊詐欺の認知件数と被害金額			
	H30 6月末	R1 6月末	増減
認知件数	614	625	+11
被害金額(千円)	1,680,174	1,033,134	-647,040

キャッシュカードすり替え窃盗の被害認知状況

キャッシュカードすり替え窃盗の認知件数と被害金額			
	H30 6月末	R1 6月末	増減
認知件数	59	158	+99
被害金額(千円)	76,025	197,813	121,788

【6月中に認知件数が多かった手口】

- 1 役所・銀行などを騙り、キャッシュカードをだまし取る手口（※3ヶ月連続で最多の手口）
- 2 百貨店（家電量販店）・銀行協会などを騙り、キャッシュカードをだまし取る手口
- 3 有料サイト管理者やアマゾン、楽天などの実在企業を騙り、「利用料金の確認が取れない」とのショートメッセージを送りつけ、電子マネーを買わせる手口

【6月中に認知件数が多かった手口】

- 1 警察官・金融庁などを騙り、キャッシュカードをすり替えて盗む手口
- 2 役所・銀行などを騙り、キャッシュカードをすり替えて盗む手口
- 3 百貨店（家電量販店）・銀行協会などを騙り、キャッシュカードをすり替えて盗む手口

- 6月末現在、特殊詐欺の認知件数は昨年より11件増加し、キャッシュカードをすり替えて盗む窃盗も99件増加しており、特殊詐欺とすり替え窃盗の合計数では110件の増加となります。
- 6月以降、市役所や銀行を騙り「医療費の還付金がある」「ATMで手続きをする」などと電話をかけ、被害者をATMへ誘導して犯人の口座にお金を振り込ませる還付金等詐欺が再び増加傾向にあります。携帯電話をしながらATM操作をしている高齢者は、還付金等詐欺の被害者の可能性が非常に高いので、ATMでこのような方を見かけられたら、「還付金があると言われていませんか？」などの声かけや、警察への通報をお願いします。